

事務所名	中部	学校名	花巻市立太田小学校	TEL	0198-28-2212
------	----	-----	-----------	-----	--------------

児童も教師も生き生きと！ 3E English～Enjoy, Easy, and Egao～

【ねらい】

- 1 児童の英語に対する興味や関心を引き出し、英語を学習する意欲を膨らませる。
- 2 コミュニケーション活動への積極性を高める。
- 3 外国語活動の授業の工夫や校内環境の充実を図る。

【具体的な取組】

研究の重点及び全体構想

1 外国語の授業改善と工夫

- (1) 言語活動の工夫
- (2) 関わる場、伝える場の工夫
- (3) 振り返りの活用

2 校内研修の充実

- (1) 授業研修会・外国語研修会
- (2) 授業で使える教材の開発と整理

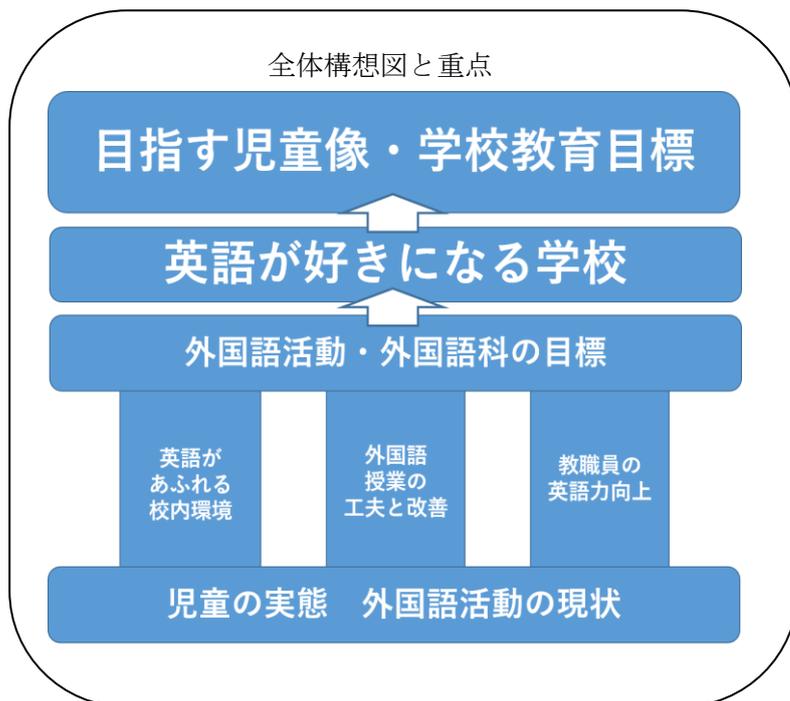
3 外国語に関わる環境づくり

- (1) English Room の整備
- (2) “英語がある”校内環境
- (3) “英語がある”日常活動

4 その他

- (1) 外国語指導研究の推進
- (2) 小中連携の取り組み

全体構想図と重点



【取組の実際】

1 外国語授業の改善と工夫

“英語が好きになる児童”を育てるために、よりたくさんの言語活動を盛り込んだり、新たな活動を取り入れたりしていくという方向ではなく、今行っている様々な言語活動を「目的意識を持たせて取り組ませること」「言語活動を通じて有用感を持たせること」という2つの視点で改善、工夫した。

(1) 言語活動の工夫

◎第1時で単元のゴールを意識させる。

T1：デモンストレーションを見てください。

T1：Can you play the piano?

T2：Yes, I can. I can play the piano.

T1：He is Kumagai-sensei. He can play the piano.

T1：先生方の“できること”をインタビューしてみよう。“He”、“She”を使ってみんなに紹介できるかな？これから、“can”を使った表現にどんどん慣れ親しんでいきましょう。





◎言語活動やゲームに意味を持たせる。

◎楽しさと同時に できた！使えた！身についた！

T1 : ワークシートには、それぞれの町に “あるもの、
“ないもの、” が書いてありますね。

T1 : Let's play Best-friend game.

This is my town.

We have a □□. We don't have a□□.

T1 : 自分と同じ町の友達、いるのかな？

T1 : Challenge interview. and please find your
Best friend!!

(2) 関わる場、伝える場の設定



◎活動形態を工夫した関わり (ペア→グループ→全体)

◎段階的にハードルを上げ、関わりを増やす

①フラッシュカード (教師⇄個人)

②テレパシーゲーム (ペア)

③チェーンゲーム (グループ)

④ベストフレンドゲーム (全体)



◎やりとりのある関わりを設定する

T1 : ペアで練習したね。同じ班の友達も気になるね。

T1 : Let's play chain-game.

C : Do you like strawberry?

C1 : Yes, I do. I like strawberry.

C : Oh, you like strawberry. Nice!

C1 : Thank you. Next your turn.

C2 : Ok, my turn.

C : Do you like apples?

C2 : No, I don't. I don't like apples. Next your turn.

C3 : Ok, my turn.



◎相手意識のある関わりを設定する

T1 : 友達の将来の夢をインタビューしてみよう。

C1 : What do you want to be?

C2 : I want to be a florist.

C1 : Florist? Why?

C2 : I like flowers.

C1 : Nice dream!

He is □□.He wants to be a florist.

T1 : 友達に他己紹介してもらってどうでしたか？



(3) 振り返りの活用

◎単元全体を見渡せる1枚ものの振り返りカード

◎授業の終末での活用や次時の導入にも活用

T1: 前の時間の振り返りを発表してください。

C1: 好きなものを聞きたいとき
"Do you like~?" を使うことが分かった。

C2: もっと練習して友達にインタビューしてみたい。

T1: 今日も "Do you like~?" にどんどん慣れていきましょう。班のメンバーに質問できたらいいね。

T1: では、今日のゴールはコレです!
(提示)

第一時	先生の話す好きなものを聞こう	おはじきゲーム	ミッションゲーム	キーワードゲーム	英語と日本語での発音などの違いについて、気づいたことを書きましょう。 わたしは、今日くだもの勉強をしてみました。 はっふんがわかりました。これと英語のさいごに "Do you like~?" を使うのも覚えておきます。	チャンク I like apples
第二時	チャンク I like apples	キーワードゲーム	ジェスチャーゲーム	真中カードゲーム	好きなものや面白いものを表す表現を使った活動をして気づいた言葉の楽しさやコミュニケーションの楽しさを書きましょう わたしは、好きなものときらいなものを発表を勉強して、しっかり聞きとることができてうれしかったです。上手のもつつかえておけません。どなたか自分の好きなものや面白いものを表す表現を使った活動をして気づいた言葉の楽しさやコミュニケーションの楽しさを書きましょう。いい目標達成の友達とはなにかをこの次回は練習してみたいです。わたしは、新しい言葉を学習して、漢字 AAA 習字するときには友達にインタビューするのでも友達の新しいことをたくさんおぼえたいです。	人物と好きなものを線で結ぼう
第三時	好きなものや面白いものを表す表現を使って気づいた言葉の楽しさやコミュニケーションの楽しさを書きましょう	チャンク Do you like apples?	音声聞いて、声にのまを聞きとろう	ロケタイズ	好きなものや面白いものを表す表現を使いながらとかかわる活動をして気づいたコミュニケーションの楽しさや書きましょう。わたしはインタビューをしてみました。自分の言葉と通じ合えることがおもしろくて、うれしくておもしろい。聞きとるの練習も頑張りたいです。聞きとるの練習も頑張りたいです。	だれが好きなものをかきおこう
第四時	チャンク Do you like apples?	スナレオゲーム	ペアで好きなものや面白いものを表す練習をしよう	Who am I? クイズ	最終ゴール自分から相手を見つけて、積極的にたずねたり答えたりできるこの単元で学んだこと、気づいたことを書きましょう。	Lesson4 おりのりカード I like apples. 好きなものを伝えよう
第五時	チャンク Do you like apples?	仲間を見つけてよう	Who am I? クイズ			

2 校内研修の充実

"授業の改善へつながる教師の指導力向上" のため、「実際の授業場面から学ぶ」「授業場面で使える教材や指導法を知る」という2つの視点で校内研修を行った。全職員が授業を見て感じ、授業で生かせる指導技術を学び、授業の場面を想定して教材を整備することで、全職員が授業づくりに関わることを目指した。

(1) 授業研究会・外国語研修会

◎授業研究会の実施

- ・年3回 6月(6年) 9月(4年) 12月(6年)
- ・全職員が授業の実際を知る。

◎外国語研修会・英語力向上研修の実施

- ・年2回 6月 11月
- ・中核教員による中核教員研修会の伝講
- ・英語推進リーダーによる演習
体験的に学ぶアクティビティ
能動的に学ぶクラスルームイングリッシュ



(2) 授業で使える教材の開発、整理



◎教材の開発→整理→一目で分かる→共有

◎だれでもいつでも取り出せるようデータベース化

- ・振り返りカードの作成と共有
- ・絵カードの作成と整理と共有
(LessonごとUnitごとに)
- ・児童用のプリントの開発と共有
(例 word-search SUGOROKU など)
- ・教材の共有
(例 ブラックボックスなど)

3 外国語に関わる環境づくり

「児童が英語を身近に感じる、ことができるように、英語環境を充実させる取り組みも進めた。「自然に英語に触れる環境」「児童の英語への知的好奇心が刺激される環境」という2つの視点で校内環境を整えた。目、耳、手など様々な感覚を使って、英語に慣れ親しむことを目指した。

(1) English Room の整備

- ◎今年度 English Room を新設
- ◎児童の意識の変容→英語を学習するんだ
- ◎機器の常設により準備の負担軽減
- ◎教室内の掲示
 - ・言葉の玉手箱 in English
 - ・World information
 - ・ALT コーナー
 - (ALT による掲示作成・質問コーナー)
 - ・既習事項の壁面掲示と既習の活用



(2) "英語がある" 校内環境



- ◎身近なところに英語があふれる学校に
- ◎英語への興味は高く ハードルは低く
- ◎外国語絵本コーナーの設置
 - ・児童が手に取って英語を目にする
 - ・担任や ALT の読み聞かせにより語彙に触れる
- ◎毎日目にする英語環境
 - ・階段に英単語の表示
 - ・教室の名前も英語で表示

(3) "英語がある" 日常活動

- ◎校内活動や児童会活動にも英語を取り入れる
- ◎聞く 話す 目にする 使う 慣れる場を設ける
 - ・今月のあいさつ (児童朝会の日是世界のあいさつデー)
 - ・日付や曜日、献立の英語放送
 - ・英語のうた (児童会 今月のうた 年3曲)



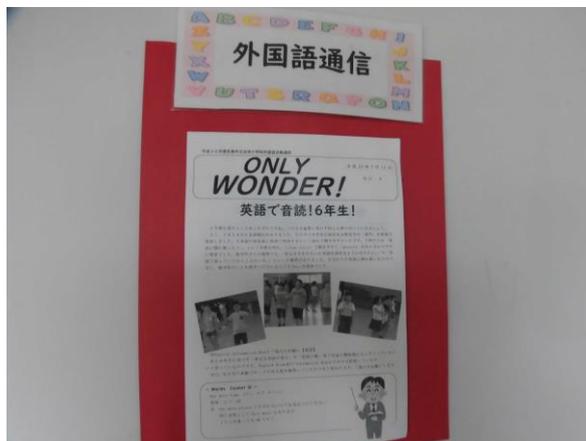
4 その他

“教師のための日常的な取組を継続的に、”という視点で、外国語指導の研究を推進した。日常に位置付けることで、教師一人一人の意識も高くなった。また、“児童の興味・感心を更に膨らませる、”ことを目指し、小中連携にも力を入れた。英語教諭の参観、参加。卒業生の登場などは児童の授業への意欲を高める効果があり、中学校の英語への期待も芽生えていた。

(1) 外国語指導研究の推進

◎より効果のある指導を目指した日常的な研究

- ・前日放課後の授業の準備
- ・ALT との短時間直前打ち合わせ
- ・全校で共有できる教材の開発、作成
- ・ティームティーチング指導の工夫
- ・外国語通信の発行
- ・放課後5分間のちょこっと英会話



(2) 小中連携の取り組み



◎中学校の英語教諭による小学校の授業参観

◎授業への参加

29年度、30年度 1回ずつ実施

◎卒業生の活用

- ・ビデオレターによる英語メッセージ
- ・授業における会話のモデルの提示
(ビデオでのデモンストレーション)

【成果と課題】

1 成果

- (1) 外国語の授業研究を通して、全職員が授業づくりに関わることができ、その結果、児童の「英語が好きだ」という割合も高くなっている。(アンケート 「好き」「どちらかと言えば好き」が90%)
- (2) 教職員研修を通して、クラスルームイングリッシュや様々なゲームなど、授業に活かせる手法を学び、担任はそれを実践につなげることができた。
- (3) English Roomの整備を進めたことで、児童の意欲や関心の高まりを感じると共に、授業で使う絵カード等の教材もこれまでより効果的に活用できている。
- (4) 児童に身近な英語環境を整備したことで、学年に関わらず英語を目にし、読んでみよう、使ってみようという児童が増えた。

2 課題

- (1) 次年度のフル実施に向けて、更なる教材研究・開発に励む必要がある。
→今年度の教材は来年度にも活用。類似単元 (ex HF2 Lesson5 と WC1 Unit6 など) を洗い出し、ゲームやアクティビティ、教材等を相互活用していく。
- (2) 環境整備や小中連携など、今年度の取り組みを持続可能なものにしていく必要がある。
→・校内研修会を年度計画に位置付け、中核教員を軸として時間や人員を確保する。
 - ・現在行っている小中交流研の中で、縦のつながり (小と中) 横のつながり (同一中学校区の小学校) を意識しながら外国語 (英語) について話題にしていく。